



本校教育目標

- 1 豊かな心で、互いに敬愛できる人（敬愛）
- 2 進んで学び、深く考える人（知性）
- 3 健康で明るく、自ら鍛える人（健康）
- 4 責任を重んじ、勤労を尊ぶ人（責任）
- 5 礼儀を重んじ、他とよい関係を築く人（礼節）

平常心で子どもたちを支える —箱根駅伝に学ぶ—

新年あけましておめでとうございます。昨年は、日々の教育活動を概ね計画どおり実施することができました。引き続き本年も、「安全・安心」を第一に、教育活動に取り組んでまいります。

今月は新年の節目として、国語科の授業を中心に「書初め」に取り組み、校内書初め展を実施いたします。また、3年生は面接試験等を含む進路に向けた具体的な取組、2年生は今月末に予定されている「チャレンジ・ザ・ドリーム（職場体験学習）」、1年生は来月実施予定の校外学習など、それぞれ大切な行事を控えています。いずれも、十分な準備のもとで臨んでほしいと考えています。

さて、私の正月はここ数年、2日・3日に行われる箱根駅伝で母校（中央大学）を応援することが恒例となっています。箱根駅伝は、選手たちが全国の注目を集める大舞台で、仲間の思いが込められた襷を胸に走る大会です。極度の緊張の中で、多くの選手が大切にしているのが「平常心」です。特別な力を発揮しようとするのではなく、これまで積み重ねてきた練習を信じ、いつもどおりの走りを貫く姿は、多くの人の心を打ちます。

子どもたちも今、学校生活の中でさまざまな節目を迎えてます。学習のまとめの時期であると同時に、特に3年生にとっては、進路選択という大きな課題に向き合う大切な時期です。子ども自身はもちろん、保護者の皆様にとっても、不安やご心配の多い時期であることを思います。

そのようなときだからこそ、子どもたちが安心して力を発揮できるよう、周囲の大人が落ち着いて見守り、支えていくことが何より大切であると感じています。結果だけではなく、日々努力している過程や、挑戦し続けている姿に目を向け、温かい言葉をかけていただくことが、子どもたちの心を支える大きな力となります。保護者の皆様の穏やかな姿勢は、子どもたちが「平常心」で物事に向き合うための、何よりの支えとなります。

本年が、子どもたちにとって実り多い一年となり、保護者の皆様とともに歩む充実した一年となることを心より願っております。